

授業科目 助産学実習 IV

【担当教員名】 下山 博子 他		対象学年	4	対象学科	看護（助産師コースのみ必修選択）
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	8	時間数	360
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 分娩期から産褥期・新生児期にある対象者とその家族に対する助産活動に必要な実践力を養う。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 10例の正常分娩を介助する。 2. 出生直後の新生児のケアを実践する。 3. 介助した褥婦と新生児を受け持ち、助産過程を展開する。 4. 助産管理業務の実際をととして、助産師の役割について学ぶ。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1～	正常分娩介助、助産過程	1～4	10例以上の正常分娩の直接介助と間接介助をおこなう、担当：下山 博子 他		
1～	助産業務管理	1～4	助産所において助産業務管理の実際を見学、実践する、担当：下山 博子 他		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア	町浦美智子	日本看護協会出版会	2013・3,600円＋税
参考書		助産学講座7 助産診断・技術学II[2]分娩期・産褥期 第5版	我部山キヨ子、武谷雄二	医学書院	2013・4,800円＋税
		今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程	北川眞理子、内山和美、生田克夫	南江堂	2013・8,800円＋税
		分娩介助学	進純郎	医学書院	2009・4,800円＋税
その他の資料		助産学実習要項			
【評価方法】 実習記録（助産過程評価表・分娩介助実習評価表・間接介助実習評価表）60%程度 実習内容、態度 40%程度			【履修上の留意点】 実習内容の詳細については、実習オリエンテーションで確認すること		